

平成30年1月1日

会員各位

協会だよりー301(1月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

2018 年頭のご挨拶

会 長 和 氣 収※



新年あけましておめでとうございます。

会員各社の皆様並びに関係各位におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。2018 年の新春を迎えるにあたり、年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、「申酉騒ぐ」（申年と酉年には相場が乱高下することが多い傾向）という相場格言の通り、各分野で騒がしい 1 年となりました。

国際情勢では政治イベント目白押しの 1 年となりました。1 月に米大統領に就任したトランプ大統領はパリ協定離脱や TPP 離脱など、これまでの政策を大きく転換してきました。北朝鮮のミサイル発射実験、韓国では大統領が弾劾され交代、欧州ではフランスの大統領選で中道派のマクロン氏が勝利、スペインのカタルーニャ州独立住民投票といった出来事がありました。

経済面でも東芝の WH 原発事業損失による 1 兆円の赤字決算、年末にかけては複数メーカーで検査データ改ざん等、技術立国日本の信頼性を損なうような出来事がいくつも発生した年でありました。

一方、長きにわたり計画をしておりました触媒工業協会と触媒資源化協会共催講演会も関係各位のご協力の元、無事実現させることができました。改めてお礼申し上げます。

さて、今年は戌年。相場格言では「戌笑い」と云われ、好景気で笑って過ごせるということですが、どのような年になるのでしょうか。

年末にかけて日経平均株価も 23,000 円を超え 9 月時点で拡大期間が 58 ヶ月を上回り期間上昇率もいざなぎ景気を超えて拡大しております。NY ダウも 25,000 ドルに向け過去最高値を年末にかけて更新しつつまいりました。

産業もスマートフォンに関連する電子材料分野も好調に伸びを示しており、今年も引き続き堅調という声が聞かれます。自動車各社が電気自動車化を推進する方向に舵を切り実需及び見込みにより関連素材の価格が上昇。特にリチウムイオン電池関連のリチウムやカーボンが値を上げましたが、何よりコバルトが昨年年始 14.65\$/lb（London Metal Bulletin 誌 Cobalt Low Grade Mean 指標）から上昇を続け年末には 35\$/lb を超え 2.4 倍以上の価格上昇を見せました。今後の産業の拡大が期待されます。

中国の「国門利剣（ナショナルソード）2017」により廃プラを含んだ雑品スクラップの輸入を停止しており、国内でもバーゼル法の改定も進み海外からの原料輸入の簡素化が進められており、日本のリサイクル産業の国際競争力向上が見込まれております。

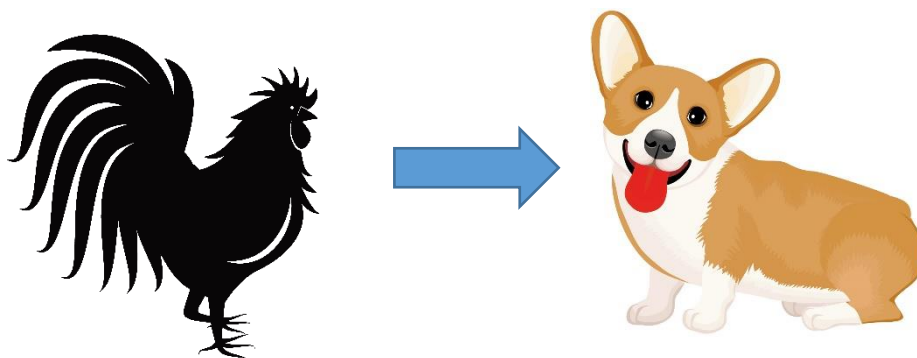
そういったことから、今年は好景気の期待が高まってまいります。

資源に乏しい我が国においては国内における資源の有効活用が重要であり、経済合理性を担保出来る技術開発や協業等による新たなリサイクルの仕組み構築が喫緊の課題であります。IoT（モノのインターネット）、AI（人工知能）、ビッグデータ等の新技術が、効率化や高速化、省人化等を推進する原動力となり、あらゆる産業においてビジネスモデルや業界構造の変革が起こりつつあります。これらの新技術を用いてリサイクル分野では「収集運搬ルート効率化」、「解体選別の自動化」、「プラントの操業・保全の最適化」等への活用が大いに期待出来ます。

当協会では、少しでも会員各社の事業の取り組みのお役に立てるよう専心努力して参る所存ですので、是非とも関係ご当局並びに会員各社の皆様方には、当協会の活動に一層のご指導・ご支援を賜りますよう改めてお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員各社のますますのご発展と、関係各位ならびにご家族のご多幸、ご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

※ J X 金属㈱ 取締役 常務執行役員 環境リサイクル事業本部長



トピックス：

- 第36回 JSCRA 会(協会ゴルフ大会)の開催
開催日：平成30年1月25日(木) 8時30分クラブ集合
コース：総武カントリークラブ総武コース西コース (9:22⇒)
- 第235回月例会(講演会・新年会)は平成30年2月8日(木)如水会館(神田一ツ橋)にて開催が決定しています。



和同開珎(日本貨幣発祥の地・秩父市黒谷にて)

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
- 二. 事務局より(二年度の予定)
【予定事項】
- 三. 【雑学】北茨城・紅葉の袋田の滝へ

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー300 (12月号)** をメール&郵便で送信 (12/1)
故・黒田専務理事(第二代)、安藤専務理事(第三代)、小林専務理事(第四代)と引継ぎながら25年目で300号の発行となりました。
- ② **CMAJ・JCRA 共催講演会(講演・懇親)の開催**
日 時：2017年12月4日(月)15:00～17:00
会 場：学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)
演 題：「エレクトロニクス市場動向と日本の製造業」
講 師：金澤洋平殿(株式会社SSC)



③ 2017年触媒資源化実績報告のお願い発送 (12/14)

◎報告期限お願い日：1月26日(金)

④ 第235回月例会のご案内発送 (12/14)

⑤ HP更新打合せ

日 時：2017年12月19日(火)15:00～

場 所：BISTATION 新橋 会議室

議 題：更新演習、他

[予定事項]

① 第五回運営委員会

開催日：平成30年1月18日(木)16:00～17:00

場 所：堺化学工業(株)東京支店会議室(友泉岩本町ビル2F)

議 題：第235回月例会の準備

出 席：運営委員及び第235回月例会の幹事会社、専務理事

② 第36回JSCRA会(協会ゴルフ大会)の開催

開催日：平成30年1月25日(木) 8時30分クラブ集合

コース：総武カントリークラブ総武コース西コース (9:22➡)

③ 第235回月例会(講演会・新年会)の開催 (平成30年2月開催です)

開催月日：平成30年2月8日(木)14:30～

開催会場：如水会館(神田一ツ橋)

講演題目：1. 堺化学工業(株)様より2件

新年会：同会館にて開催

2. 事務局より (1月度の予定) 1月出勤予定：8日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
12/31	1	2	3	4	5	6
×	元日	←正月休暇→			仕事初め	×
7	8	9	10	11	12	13
×	成人の日	×	×	○	×	×
14	15	16	17	18	19	20
×	×	○	×	第五回 運営委	×	×
21	22	23	24	25	26	27
×	×	○	○	第36回 JSCRA 会	×	×
28	29	30	31	2/1	2/2	2/3
×	×	○	×	○	×	×
2/4	2/5	2/6	2/7	2/8	2/9	2/10
×	×	○	×	第235回 月例会	×	×

3.【雑学】北茨城・紅葉の袋田の滝へ

11月の歴歩会バスの旅は、紅葉を期待して北茨城大子町へ向かいました。大子町は西を栃木県、北を福島県に接する茨城県の最北の地です。鉄道で行くには水戸と郡山を結ぶJR水郡線の常陸大子駅で下車となります。

私たちは朝7時に町田バスターミナルを出発、東名高速、首都高、常磐道を乗継いで現地には10時半頃到着予定かとルンルン気分の出発でしたが、何と々々！東名高速が大渋滞、世田谷区の瀬田（首都高入口）に到着したのが9時半と2時間半もかかりました。

午前中に永源寺（もみじ寺）で紅葉を愛でてから昼食という予定が大子に到着したのが12時ということで、まずは118号線に沿ったリバーサイド奥久慈「福寿荘」（茨城県久慈郡大子町池田2694）で昼食です。食事は湯葉中心のコースでボリュームたっぷりでしたが、印象に残った料理は、容器状に揚げた湯葉にサラダを盛りつけたもの（意外と美味）と凍みこんにゃくの天ぷら（肉と間違える食感）でした。給仕の女性が、中身は何か判りますか？という問いに、嚙むと肉の食感があり、殆どの方は何だろうな？と凍みこんにゃくと判らなかった様子、凍みこんにゃくは北茨城地方の特産品です。



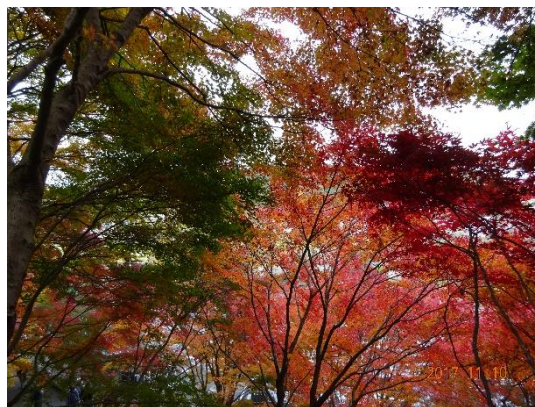
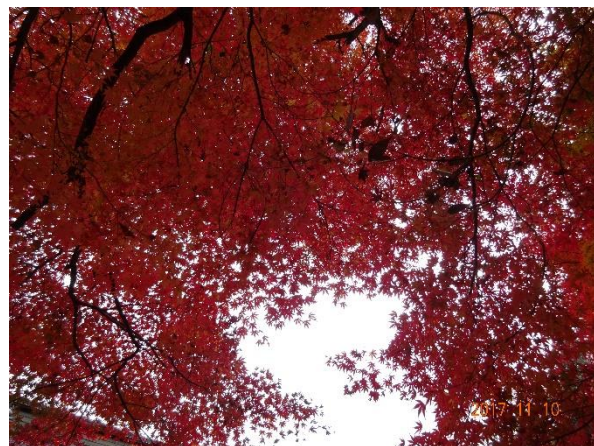
食後は早速、永源寺へと向かいます。永源寺までは大型バスが入れないため、常陸大子駅前より徒歩で水郡線の踏切を渡り、久慈川の支流・押川を越えての参拝です。押川の清流を横手に見ながら堤防上を進むと左手高台に紅葉真っ盛りの永源寺が見えてきました。



大子町は久慈川の清流がご自慢のようで、町の県立高校の名称まで茨城県立大子清流高校と名付けられています。

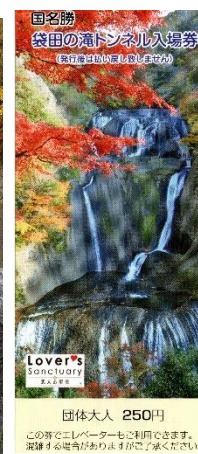
《永源寺》茨城県久慈郡大子町大子 1571

文安3年（1446）に創建され、曹洞宗臥雲山永源寺と号し、本尊は釈迦如来です。元治元年（1864）、水戸天狗党の一群の侵入で、寺の大半を焼失しました。天狗党は大子に滞在後、山を越えて黒羽藩（現・栃木県大田原市黒羽）に侵入します。永源寺は一山、花の寺として、晩秋のもみじは見事で「もみじ寺」の別称があります。ではその一部を紹介します。多少曇り空で有ったのが残念です。



《袋田の滝》 茨城県久慈郡大子町袋田

那智の滝、華厳の滝を合わせて日本三名瀑に数えられている袋田の滝へと着きました。高さ 120m、幅 73m の大きさを誇り、別名「四度の滝」と呼ばれ、一説では昔、西行法師が訪れた際、「四季に一度ずつ来てみなければ本当の良さはわからない」と絶賛したそうです。また袋田の滝は 1500 万年前、海底で噴火する火山で、その後、マグマが固まって出来たと言われています。さあ、私たちは袋田の滝トンネルへと入り目指すは第一観瀑台です。青色LEDのイルミネーションで装飾されたトンネルはクリスマスモードに満ちています。第一観瀑台へ出ると視界いっぱいの滝と轟音が響きます。



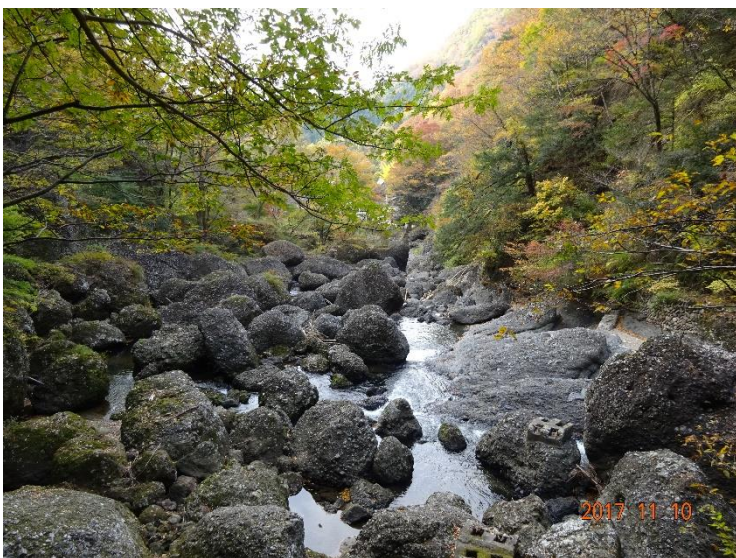
【トンネルを抜けた第一観瀑台より望む袋田の滝】

今度は、エレベーターで第二観瀑台へと向かいます。第二観瀑台から見ると滝が四段になっているのが分かります。Yさん曰く。「西行さんにここから滝を見せたかったな！」



〔第二観瀑台より見る四段の袋田の滝〕

観瀑台に別れを告げ、トンネルを出てつり橋を渡ります。この位置から上流に滝が斜めに見え、橋の下流は大きな岩がごろごろと転がっています。この岩も海底マグマの一部なのであろうか。



〔吊り橋より見た下流のマグマ(?)の岩と袋田の滝〕



ここから先、大型車両は入れない。大型バスのUターン場所でもある滝本屋本店（みやげ屋）で、バスの駐車了承の代償に乗客の皆さん、帰りにお土産買ってね！との店員の声に協力し、皆さん結構、土産を買い込む。次の見学先である竜神大吊橋へと向かいます。

竜神大吊橋は歩行者専用で橋長 375m、幅員 3m、湖面からの高さ 100mとされています。

《竜神大吊橋》 茨城県常陸太田市天下野町 2133-6



№ 030138

竜神大吊橋

- 橋長 375m
- 幅員 3m
- 湖面からの高さ 100m

茨城県常陸太田市
天下野町2133-6
水府物産センター
☎0294(87)0375
(団体用)
●大人 280円

大吊橋を 375m 歩いて対岸へと渡ります。橋の下は竜神湖で下流に設けられた竜神ダムにより湖になりました。100m 落下（？）バンジージャンプも出来るそうです。



〔龍の形をした竜神湖の図形と大吊橋から見た竜神ダム〕

竜神ダムは茨城県により洪水調節、水道用水供給、工業用水供給、流水の正常な機能の維持、不特定かんがい用水供給の目的で昭和 54 年 3 月に完成しました。ダム湖の水面から約 100m の高さに竜神大吊り橋がかかっており、上からダム湖を見下ろす事のできる珍しいダムです。また、ダム湖は切り立った溪谷の地形により細長く、曲がりくねった特徴ある形（これが竜神の命名の根拠か？）となっています。



〔大吊橋から見た竜神湖（上流）と対岸から見た大吊橋〕

記：小林尚道

【文責：専務理事】